

クイックリリースの使用・調整方法に関して、今一度ご確認ください。

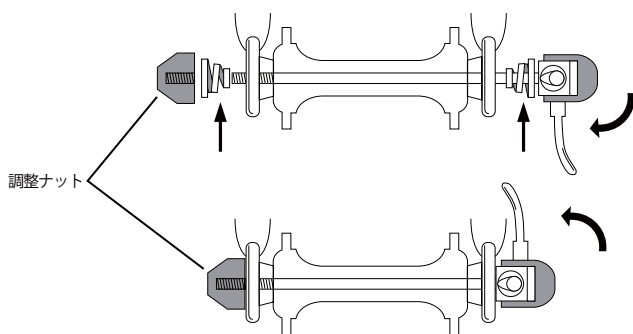
最近、クイックリリースレバーの間違った使用方法が原因とみられる、事故が数件報告されております。クイックリリースレバーはホイールの脱着が工具を必要とせず簡単に行えるスポーツ車特有の機構。操作方法を理解し正しく使用すれば非常に便利な機構ではありますが、間違った使用方法では走行中に車輪が外れてしまったりなど、大きな事故へと繋がってしまう恐れがございます。特に近年クロスバイクなどにも採用される事が多くなったDISCブレーキの場合、クイックリリースレバーが正しく使用されていないと、ブレーキング時にクイック部に掛かる負担が大きいため、重大な事故へと繋がる場合がございます。今一度、正しい操作方法のご説明を徹底していただきますよう、お願い申し上げます。

以下は弊社完成車に付属している取扱説明書内から抜粋致しました、クイックリリースの操作方法となります。

クイックリリースの扱い方法について

クイックリリースとは工具を必要とせず車輪を簡単に着脱できるシステムです。しかし操作を誤ると走行中に車輪が外れるなど重大な事故につながる可能性もあり非常に危険ですので、その構造と特徴をよく理解した上で、必ず正しいご使用方法をお守りください。

クイックリリースを確実に固定するには「調整ナット」を締めたり緩めたりすることでクイックリリースレバーの締め具合を調整することで確実な車輪の固定を行います。「調整ナット」を調整し適度に閉まったらレバーを「CLOSE」の文字が外側にくるようにして閉め込み固定します。きつ過ぎる場合は「調整ナット」を緩めます。反対にレバーが緩過ぎる場合は「調整ナット」を締めながらレバーの硬さを調整してください。

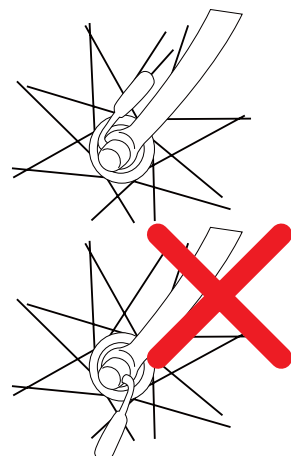


クイックリリースレバーを開いた状態

レバーが外側に向いた状態が開放状態で、車輪がすぐに外れる状態です。内側のバネは細いほうが中心に来るように装着してください。

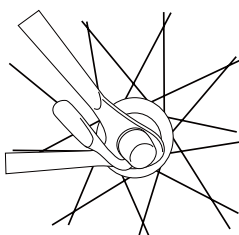
クイックリリースレバーを閉じた状態

レバーが内側に向いた状態が固定状態です。乗車するときはレバーが必ずこの方向に向いていることを確認してください。



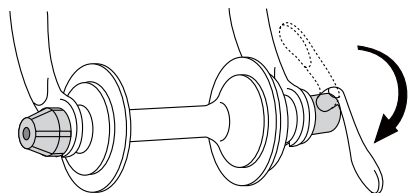
閉じた際のレバー位置(前輪)

前輪のレバーはフォークに沿うようにしてクローズさせておくと、引っかかりなどによる事故を防げます。



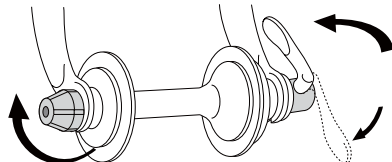
閉じた際のレバー位置(後輪)

後輪も同じように、シートステー、またはチェーンステーに沿うような位置で固定させておきます。



車輪の外しかた

前もってブレーキを開放し、クイックをオープンします。調整ナットを反時計側に数回転させ、車体を持ち上げて車輪を外します。



車輪の固定のしかた

調整ナットを時計まわりに回しながら、レバーを半分閉じたときに操作が硬くなるように調節し、レバーを最後まで閉じます。レバーを締める硬さの度合いは上記の絵のようにフレームを支点に手のひらを使って閉め込むことができるぐらいの硬さが目安となります。レバーの閉め込み具合は必ずご購入時に販売店様で実際に体験してみる事をお勧めします。

！車輪の装着後に必ずご確認ください

レバーを最後まで閉じたあと、車体を持ち上げ車輪を上からたたいて、ガタがないか？確実に固定されているか？を確認してください。

レバーを締めた後は、必ずブレーキの動作確認を行ってから乗車を開始してください。

クイックリリースレバーの操作に関して不安や疑問がございましたら、即座に最寄りの自転車販売店にご相談ください。